

ケン
ト
エー
シ
ヨ
ン

「米-1」グランプリへ 初協賛で生産者を応援



▲吉田浩憲社長(左)と金秀行蘭越町長



▲「ミス北海道米」をはじめ多くの関係者と接した

生産者が丹精込めてつくった米の食味「日本一」を決める9回目の「米-1(こめワン)グランプリ」が11月23日、後志管内蘭越町の山村開発センターで開かれ、下宿再生ビジネスを展開するケントクリエーション(本社:札幌市)が協賛会社の1社として大会を盛り上げた。

同社は蘭越町で民泊施設の経営やアパートのオペレーションを通じ、地域の人たちに「住まい」を提供している。金秀行町長から「地域活性化のお手伝いを」と依頼された吉田浩憲社長はビジネスを抜きにして「ニセコ観光圏の観光振興を応援していきたい」という惚れ込みようだ。

「米-1(こめワン)グランプリ」への協賛は今回が初めて。蘭越は道内屈指の米の生産地として知られ、町は商標登録を活用しブランド力の向上を図っている。吉田氏は「地産地消を会社理念の一つとして「米」にこだわってきた。というのも「おいしいご飯を提供するのは下宿の

基本」であり、「朝からしっかりと飯を食べることが元気の源」を持論としているからだ。下宿の利用者は学生が多い。「柔道をはじめ体育会系の学生は食べる量が半端ない」と笑う。もちろん同社の町内の民泊施設でも農家直送の「らんこし米」を使っている。そんな理由から大会を支援。グランプリは2年ぶりに地元蘭越の生産者が輝いた。「ゆめぴりか」の佐々木和弘さんだ。



▲グランプリの佐々木和弘さん(中央)と準グランプリの2人

小学生限定 サッカーを楽しむなら YURIKOサッカースタジアム

YURIKOサッカースタジアムはピッチの無料開放を行っています。また、YURIKOガールズサッカークラブを創設して、未来の“なでしこ”を育成しています。北海道の少女のみなさん、YURIKOガールズサッカークラブでサッカーを楽しんでみませんか!

YURIKO
SOCCER STADIUM

札幌市南区常盤127-1

お申し込み info@yuriko-ss.jp

YURIKOサッカースタジアム利用規約
試合または練習終了後、必ずトイレ掃除をしていただきます。
ゴミ類は必ず持ち帰ってください。ゴミ箱は用意していません。

